



伝統と今を大切にする

堅川中だより

第8号

令和6年12月1日
墨田区立堅川中学校
発行 校長 稲垣 吉実

「天網恢々疎にして漏らさず」

校長 稲垣 吉実

時がたつのは早いもので、今年も残すところあと一ヶ月になってしまいました。11月の後半からだいぶ寒くなり、乾燥した陽気が続いています。体調管理は大丈夫でしょうか。新型コロナウイルスやインフルエンザ、マイコプラズマへの予防対策として、手洗いうがいの励行を今後も徹底しましょう。

さて、今月は、以前の学年集会で話したことをもう一度今年最後に話したいと思います。中国の思想家の老子という人が言った古いことわざで「天網恢々疎にして漏らさず」という話です。覚えているでしょうか。難しい漢字ですが、「天網」は天に張り巡らせた法の網。「恢々」は広大である。「疎」は粗い。を意味しており、「天網恢々疎にして漏らさず」を訳せば、「天に張り巡らされた法の網は、広大で一見目が粗いようであるが、悪人を網の目から漏らすことない。」すなわち「悪事を行えば必ず捕らえられ、天罰をこうむる」という意味になります。

このことわざは、私が一番大切にしている「心のことわざ」です。簡単に言えば、「悪いことをするなよ、天は全てお見通しだよ」ということです。「少くくは悪いことをしてもいいだろう。どうせ分かりっこない。」と思ってもいつかはばれる。そうってから初めて「何でやってしまったんだろう」と思っても、あとのまつりで後悔ばかりが残ってしまった、と言う経験をした人もいます。「正直に生きて頑張っている大勢の人が損な役割を受け、少数のずるい人が楽をする」そんな嫌な世の中にしないためにも、みんなでルールやマナー守っていきましょう。学校内での悪ふざけやいじめ、メールやSNSでの誹謗中傷など、「ちょっとくらい」とか「ばれなきゃいいや」という心の隙間から生まれる悪い心を自分で規制できるように。また、やってしまいそうな人がいたら「そんなことやめた方がいいよ」と声をかけてあげることも大切なことではないでしょうか。学校が楽しい場所、みんなが過ごしやすい場所にするには、やはり一人一人の努力と全員の協力が必要だと思います。「天網恢々疎にして漏らさず」このことわざを心に留めて生活してください。

12月の予定

1	日	
2	月	三者面談(3年)①始 二者面談(1, 2年)①始
3	火	三者面談(3年)② 二者面談(1, 2年)②
4	水	三者面談(3年)③ 二者面談(1, 2年)③
5	木	特別支援学級合同球技大会 三者面談(3年)④ 二者面談(1, 2年)④
6	金	三者面談(3年)⑤終 二者面談(1, 2年)⑤終
7	土	
8	日	
9	月	朝礼(表彰)
10	火	避難訓練
11	水	定例・代表委員会
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	ESAT-J 追検査(予備日)
16	月	生徒朝礼
17	火	
18	水	職員会議 NO 残業 DAY
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	職員研修
25	水	冬季休業前指導 安全指導
26	木	学校閉庁日 冬季休業日始
27	金	学校閉庁日
28	土	
29	日	学校閉庁日
30	月	学校閉庁日
31	火	学校閉庁日

※ () 内の数字は学年や5組をあらわしています。 例 (5) : 5組

【1 学年】

11月13日（水）にスタンドバイ株式会社小池さおりさんを講師にお招きし、いじめ防止意識啓発授業を行いました。「複数の人がSNSにクラスメイトの悪口を書き込んでおり、それに対してあなたは悪口を止めるように書き込みますか？書き込みませんか？」という内容の動画を視聴し、意見交換をしました。「勇気を出して悪口を止めるように書き込む」という意見もある一方、「自分が言ったところで止めることができない」「自分が次のターゲットになってしまわないか心配」という意見も出ました。また、「先生や親などの大人に相談する」といった意見も挙がりました。

講師の小池さんからは、いじめの空気を最初に変えるのは「傍観者」である、という話をしていただきました。傍観者たちが「いじめはしてはいけない」という小さなNOを発信し、観衆がはやしたてづらいい空気を作れば、次第にいじめを許容しない空気ができていきます。今回の授業を心に留め、一人ひとりが相手のことを考えて行動できるような集団になってほしいと思います。



【2 学年】

〇盛りだくさんの文化祭でした♪

9月から週1回の授業の中で、よく仕上げたと思います。3回くらいの授業で曲全体を通して歌えるようになっていて、1年生の時からの成長を感じました。声変わりしてパワーアップした男声に圧倒されながらも、人数の少ない女子は、発声を工夫して練習していたのが印象的でした。指揮者や伴奏者もパート練習の合間に相談しながら工夫して仕上げてくれました。パートリーダーや実行委員の皆さんも練習メニューを考えてくれて、立派でした。2年生が歌い終わった後に、3年生が「3年も負けていけない」と休み時間に声出ししていたのが2学年担当教員として、誇らしかったです。



【3 学年】

11月22日（金）に読売新聞記者による出前授業が行われました。読売新聞本社の記者、石橋大祐様を迎え、「話していることをメモしてみよう」という課題に対し、細かくメモを取っている人も多く、しっかりと話が聞けていました。後半は、「見出し（結論）を先頭に」「数値を入れる」「『なぜ？』と問う」ことなどをポイントに、隣の人に好きなものをインタビューし、それを文章にまとめました。楽しんで書いている姿が印象的でした。これから行われる自己PRカード作成にいかしていきましょう。

【5 組】

11月25日（月）に、2年生は1～4組の仲間と一緒に、校外学習『TGG（TOKYO GLOBAL GATEWAY）』へ行ってきました。事前学習で、現地では英語で話さなくてはならないと聞き、かなり不安や緊張が高まっていた中のスタートでしたが、まず「チームビルディング」でエージェントや班のメンバーと自己紹介を行い、少しホッとしました。その後は、「アクティブイマージョン・エリア」や「アトラクション・エリア」などで楽しみながら英会話に親しむことができました。「英語の発音をまなぶことができました」「英語で話すことが緊張してむずかしかったです」「英語をもっとしゃべれるようになって、楽しく会話したいです」「コール ミー ～ と言えました」など感想があり、とても貴重な体験となりました。

【食育】 幼保小中と食育

11月に幼保小中連携協議会として、豎川中で授業公開がありました。1年1組では総合で食育の学習をしました。

人は生まれてすぐに食事を始め、食事は一生続きます。そういう意味では幼保小中連携のものとして、あるいはさらにその先にもつながることとしてうってつけかもしれません。内容は、普段言っている食事のあいさつの意味を調べ、考えるものにしました。「ごちそうさま」の漢字、大人のみなさまも書けるでしょうか。1年生は他のクラスでも同じ授業をしているので、きっと覚えてくれていると思います。

食べることは毎日3回あり続けます。積もり積もれば膨大な時間になる食事について、今までよりほんの少しでも大切に思ってもらえると何よりです。